

南房総市定例記者会見

日時 平成28年6月1日（水）
午前10時30分
場所 市役所本庁舎本館応接室

- （１）南房総市議会第2回定例会の招集について・・・・・・・・・・項目No.1
- （２）房州びわの皇室献上及び献上枇杷選果式について・・・・・・・・項目No.2
- （３）学校外教育サービス利用助成事業の実施状況について・・・・・・・・項目No.3
- （４）小学校放課後こどもクラブの拡充について・・・・・・・・・・項目No.4

その他

南房総市総務部秘書広報課
TEL0470-33-1002・FAX0470-20-4591



定例記者会見 平成28年6月1日 開催

会見項目No. 1

南房総市議会第2回定例会を招集

今回の定例会には、報告案件4件、条例議案5件、一般議案2件、予算議案2件の計13件の案件を提出いたします。

提出議案のうち、「平成28年度南房総市一般会計補正予算（第2号）」については、使用を停止している丸山農業者トレーニングセンター及びコミュニティセンターの解体工事に係る設計業務委託費の追加、国・県の補助事業や各種財団の交付金事業に係る事業採択や交付額の内示に伴う補正などを行うものです。

また、市の海水浴場への愛着を育み、海水浴場等を安全に、かつ、安心して利用することができるようにすることを目的とした「南房総市安全で安心な海水浴場等の確保に関する条例」などの議案を提出するほか、「富山幼保一体化施設建設工事（建築工事）」に係る請負契約や「和田浦ビーチ収納庫」の地元区への無償譲渡に関する議案を提出いたします。

【参考情報】

【問い合わせ】

南房総市 総務部 総務課 総務グループ 担当者：平嶋・根本
電話：0470-33-1021 FAX：0470-20-4598
e-mail アドレス：somu@city.minamiboso.chiba.jp



定例記者会見

平成28年6月1日 開催

会見項目No. 2

房州びわの皇室献上及び献上枇杷選果式について

毎年、房州枇杷組合連合会では房州びわを皇室献上するため、献上枇杷選果式を行っています。確かな生産技術に裏打ちされた房州びわは、千葉県の初夏を代表する果実としてブランド化されています。

・日程

献上枇杷選果式 平成28年6月2日(木)午前9時 JA安房富浦支店
房州びわ皇室献上 平成28年6月3日(金)午後1時30分 宮内庁、東宮御所

・皇室献上の歴史

千葉県で唯一の献上品である枇杷の栽培は、宝暦初年（1751年）に南房総市（旧富浦町）で始められたと言われており、260年余の歴史を有しています。
房州びわの皇室献上は、明治42年6月20日に、南房総市富浦町南無谷の木村兼吉氏によって始められ、以来、第二次世界大戦中の一時期を除いて連綿と続けられ、今年は献上を始めてから102回目を迎えます。

・献上枇杷選果式について

歴史と伝統ある献上枇杷選果式は、連合会を構成する8つの枇杷組合（南無谷、豊岡、原岡、多田良、八束、館山、岩井、鋸南）から選りすぐられた一品が出品され、最高位の1点が天皇陛下へ献上、以下皇后陛下、皇太子殿下、皇太子妃殿下へそれぞれ1点が献上されます。

事務局 JA安房 富浦支店（南房総市富浦町原岡 881-1）

電話：0470-33-3311 FAX：0470-33-3313

【問い合わせ】

南房総市 農林水産部 農林水産課農業振興係 担当者：佐野 岡本
電話：0470-33-1071 FAX：0470-20-4592
e-mail アドレス：norin@city.minamiboso.chiba.jp

定例記者会見 平成28年6月1日 開催

会見項目No. 3

学校外教育サービス利用助成事業の実施状況について

南房総市では、子どもの学力や学習意欲の向上を図り、個性や才能を伸ばす機会を提供するとともに、子育て世帯の経済的負担を軽減するため、学校外教育サービス利用助成事業に昨年から取り組んでいます。

この事業は、小学校5、6年生の児童の保護者を対象に「塾利用助成券」を交付し、世帯の所得状況に応じて学習塾等に係る費用の一部を市が負担するものです。

昨年の実績と本年度の状況について取りまとめたので公表します。

利用者は、昨年度289人でしたが、今年度は399人となる見込です。参画事業者についても、57から71事業者に増加しています。

【参考情報】別紙 学校外教育サービス利用助成事業の実施状況（平成28年5月末日現在）

【問い合わせ】

南房総市 教育委員会事務局 子ども教育課 教育係 担当者：座間
電話：0470-46-2966 FAX：0470-46-4059
e-mail アドレス：kodomo@city.minamiboso.chiba.jp

南房総市学校外教育サービス利用助成事業の実施状況（平成28年5月末現在）

1 事業の概要と実績の推移

学校外教育サービス利用助成事業は、子育て世帯の経済的負担を軽減するとともに、子どもたちの学力や学習意欲、個性や才能を伸ばす機会を提供するため、学習塾や文化・スポーツ教室等にかかる経費を、世帯の所得状況に応じて助成するものである。

本事業は平成27年6月から実施しており、事業開始以後の利用実績等の推移は次のとおりである。

(1) 塾利用助成券の交付・利用状況

小学校、特別支援学校に通学している小学校5年及び6年生の児童の養育者を助成の対象として実施し、年度ごとの交付状況・利用状況は次のとおりである。

《平成27年度》

助成券利用期間：平成27年6月から平成28年3月まで（10箇月）

平成27年度助成対象者数：602人

利用児童の保護者の 属する世帯の階層区分			助成額 (月額) (円)	交付実績			利用実績		
階 層	定 義			交付者数 (人)	交付額 (円)	交付率 (※１)	利用者数 (人)	利用率 (※２)	利用額 (円)
1	生活保護世帯		7,000	0	0		0	0%	
2	第 1 階 層 を 除 き、 前 年 度 分 の 市 民 税 課 税 額 が 次 の 区 分 に 該 当 す る 世 帯	市民税非課税世帯	6,000	45	2,640,000		33	73.3%	
3		所得割 48,600円以下	5,000	62	2,940,000		45	72.6%	
4		所得割 77,100円以下	3,000	42	1,242,000		33	78.6%	
5		所得割 211,200円以下	2,000	159	3,098,000		128	80.5%	
6		所得割 211,201円以上	1,000	70	693,000		50	71.4%	
合 計				378	10,613,000	62.8%	289	76.5%	6,684,050

※1 交付率は助成対象者に対する交付者数の割合

※2 利用率は決定児童数に対する利用児童数の割合

(1,000円券1枚でも使用した場合は1人としてカウント)

《平成28年度》

助成券利用期間：平成28年4月から平成29年3月まで（12箇月）

平成28年度助成対象者数：551人

利用児童の保護者の 属する世帯の階層区分		助成額 (年額) (円)	交付実績（※2）		
階 層	定 義		交付者数 (人)	交付額 (円)	交付率 (※1)
1	生活保護世帯	84,000	0	0	
2	第1階層 を 除 き、 前 年 度 分 の 市 民 税 課 税 額 が 次 の 区 分 に 該 当 す る 世 帯	市民税非課税世帯 72,000	45	3,228,000	
3	所得割 48,600円以下	60,000	56	3,340,000	
4	所得割 77,100円以下	36,000	47	1,692,000	
5	所得割 211,200円以下	24,000	177	4,232,000	
6	所得割 211,201円以上	12,000	74	884,000	
合 計			399	13,376,000	72.4%

※1 交付率は助成対象者に対する交付者数の割合

※2 交付実績は平成28年5月末日現在

- ・平成28年度の塾利用助成券交付者数は399人で助成対象者の72.4%となっており、平成27年度の62.8%から9.6%増加している。

(2) 学習塾等の参画事業者の登録状況

塾利用助成券を利用できる学習塾等の参画事業者の登録数は、平成27年6月の事業開始当初は54事業者（71教室）であったが、平成28年5月末日現在で71事業者（97教室）となっている。

参画事業者登録状況（平成28年5月末日現在）

学校外教育サービスの種類	事業者数	教室数
学習塾	35	55
スポーツ教室	7	7
文化教室	28	34
学習・文化・スポーツ併設	1	1
計	71	97

※スポーツ教室（サッカー、クラシックバレエ・卓球等）

※文化教室（そろばん、英会話、習字、ピアノ等）

定例記者会見 平成28年6月1日 開催

会見項目No. 4

小学校放課後こどもクラブの拡充について

昨年度からスタートした放課後こどもクラブは、5、6年生の全児童を対象に各小学校で週1回開設してきましたが、今年度は、これを更に拡充して各小学校、週5回開設する計画です。

放課後こどもクラブは、安心・安全なこどもの居場所を確保するとともに、多様な活動や学習ができる環境を提供するものです。多くの児童が参加できるよう

- ・ 保護者の就業の有無は問わず、活動は午後6時までとする。
- ・ 月謝の支払いに市の塾利用助成券を利用できる。
- ・ 地元の塾やお稽古ごとの先生など地域の人材を活用する。

など、利用者の実情に配慮して開設しています。

クラブは、行政だけではなくPTAを中心に構成された委員会により運営されています。今後もニーズにあった活動メニューや指導者等を選定するなど内容の充実を図ります。

【参考情報】「放課後こどもクラブ」5月中旬の状況、広報2月号記事、アンケートの結果

【問い合わせ】

南房総市 教育委員会 子ども教育課 指導係 担当者：鈴木康代
電話：0470-46-2966 FAX：0470-46-4059
e-mail アドレス：yasuyo.suzuki@city.minamiboso.chiba.jp

「南房総市小学校放課後子どもクラブ」5月中旬の状況

平成28年5月23日現在

学校名	状 況	実施曜日	教科・内容	講 師	時 間	参加人数		運営委員	場 所	サポーター
						5年	6年			
富山小	○ 申込5月30日 開始6月6日	月 火 水 木 金	国語 パソコン 算数 そろばん 英語	神子学院 神子学院 神子学院 神子学院 神子学院 運営費	自学 ～16:45 講座16:45～17:45	(26)	(14)	PTA会長 各学年親1 教頭・教務	未定	6人
富浦小	○ 申込完了 開始6月1日	月 火 水 木 金	(国語) そろばん 英語5年 算数 英語6年	(神子学院) 増田よし江 花輪早苗 神子学院 花輪早苗 運営費	自学 ～16:45 講座16:45～17:45 合計延べ	2		PTA副会長	調理室 など	2名 16:30～18:00
						9	4	PTA会長		
						14		PTA会計・庶務		
						8	13	教頭・教務		
							13			
						40	32			
三芳小	○ 申込完了 開始4月22日	月 火 水 木 金	算数 習字 英語 運動(バスケ) そろばん	ソフィア学院 鈴木南峰先生 ソフィア学院 久間・ジェフ先生 保護者 管理費として	宿題・自学 ～16:45 講座16:45～17:45 合計延べ	9	8	PTA副会長	1F 学童部屋	3名 16:00～18:00
						7	6	環境整備部長		
						7	11	環境整備副部長		
						4	16	環境整備部員		
						6	2	学校2名		
						73	75	実質合計人数53		
白浜小	○ 再度受付検討 開始6月6日	月 火 水 木 金	算数 (英語) 和楽器 (国語) (習字)	神子学院 (小滝亜衣) 林 克枝 (神子学院) (佐野かおる) 運営費	宿題・自学 ～16:30 講座16:30～17:30	2	1	PTA会長・会計	オープン ルーム	2名 15:30～18:30
						0	0	校長・副会長		
						1	1	PTA本部総務		
						0	0	受講生保護者		
						0	0	教頭		
						3	2	専任スタッフ		
千倉小	○ 申込完了 開始4月12日	月 火 水 木 金	芸術(書・絵) スポーツ 英語 (自主プラン) 国算(宿題)	保護者2名 スフィーレ 浅井・小滝 地域の方3名	自由 ～16:30 講座16:45～17:45	7		PTA本部	旧 幼稚園棟	(3名)
						7		参加者保護者1		
						34		教頭		
						28				
南小	○ 申込完了 開始5月9日	月 火 水 木 金	英語 国語 算数 パソコン 習字	保護者 スクールIE スクールIE ひよこ教室・ヤマス 庄司節子+保護者 運営費	自由 ～16:30 講座16:45～17:45 合計延べ	15	17	PTA本部	パソコン室 図書室	3名 16:00～18:00
						4	5			
						11	10			
						17	13			
						2	4			
						49	49	実質人数合計95		
南三原小	○ 申込完了 開始5月9日	月 火 水 木 金	算数 バドミントン 囲碁 (そろばん) 英語	一塾 山本・渡邊 鎌田貞義 (飯田) 山口薫 運営費	宿題・自学 ～16:30 講座16:30～17:30 合計延べ	5	3	PTA本部副会長	図書室	4名 16:00～18:00
						9	8	受講者保護者		
						1	2	教頭		
						0	0			
						4	3			
						19	16	実質人数合計21		
和田小	○ 申込完了 開始6月1日	月 火 水 木 金	(書道) バドミントン 囲碁	(剣持和子) 山口・鈴木 鎌田貞義	16:00～17:00 17:00～17:45 宿題・自学 ～16:30 講座16:30～17:30 合計延べ	0	0	PTA会長	体育館 会議室	検討中
								校長		
						6	2	教頭		
						2	1			
						8	3	実質人数合計9		

小学5・6年生の放課後の

安心・安全と活動の充実を応援

「放課後こどもクラブ」週5日が多彩なメニューでスタートします

「お習字を習わせたいけれど家の近くにないわ」「土曜日に英語を習っているけれど送り迎えが大変」「友達と遊んで欲しいけれど家が離れていて難しい」「夕方一人で歩いて塾に行かせるのは心配」このようなお悩みに応える「放課後こどもクラブ」が各小学校でスタートしています。

小学校5・6年生の全ての児童を対象に、放課後、小学校を会場にして、安心して安全に過ごせ、しかも、いろいろな活動や学習ができる場を提供します。保護者の就業の有無は問いません。

現在、小学校ごとに、週1日の「放課後こどもクラブ」を立ち上げ、放課後午後6時まで活動をしています。

特に、三芳小学校はモデル校として他の小学校に先駆け、週5日の「放課後こどもクラブ」を実施中です。月から金曜日まで日替わりで、算数・書道・英語・ミニバス・珠算と5つのメニューを展開しています。5・6年生

の約68%にあたる54人が週1～2日利用しています。利用している児童からは、「宿題が終わるから助かる」「時間が有効に使える」「学校の授業が分かるようになった」「みんなと一緒に楽しく運動ができる」「体力がついたと思う」などの感想が出ています。

この「放課後こどもクラブ」は、塾や習い事の先生、地域の人が学校に来て教えてくれるので、比較的低料金で受講できます。市の塾利用助成券も利用できます。

三芳小学校以外の小学校でも平成28年度にはメニューや日数を増やして展開していく予定です。ぜひ、ご利用ください。どのようなメニューがあるのかなど利用については各小学校または、子ども教育課までお問い合わせください。

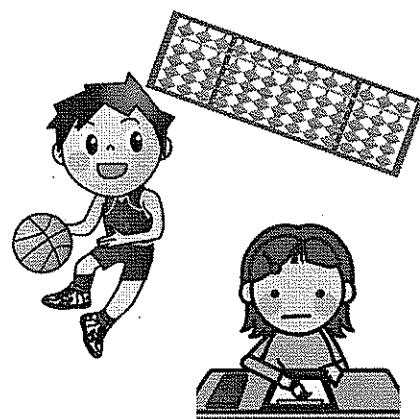
問 南房総市教育委員会

子ども教育課

☎ 46-2966



「放課後こどもクラブ」のようす(三芳小学校)



有料広告

有料広告

放課後こどもクラブ 第2回アンケートの結果をお知らせいたします。

H28. 2. 22

三芳小学校PTA 会長 鱸 博己

環境整備部長 神作真奈美

2月初旬に、放課後こどもクラブに参加している5、6年生児童と保護者を対象にした第2回アンケートをとらせていただきました。その結果をお知らせいたします。（自由記述は、主な意見を抜粋してあります。）

児童の部

1. 放課後こどもクラブに参加するようになって、自分は、次のことはよくなっていると思いますか。

	とてもよくなっている。	少しよくなっている。	あまりよくなっていない。	ぜんぜんよくなっていない。
①教室に入る時、サポート員の先生や友達に気持ちのよいあいさつをする。	28	23	2	0
②自習の時間は自分で考えて学習や読書をしている。	22	26	5	0
③講座の時間は、講師の先生の話をよく聞いて集中して取り組んでいる。	28	20	5	0
④よい学習のふんい気を自分でつくっていかうという気持ちで参加している。	12	30	10	1
⑤帰る時は、いろいろな人に気持ちのよいあいさつをしてから帰っている。	34	16	3	0

2. 放課後こどもクラブに参加して、よかったと思うことはどんなことですか。

- 算数の授業でわからなかったことがわかるようになった。 ○復習をすることができるのがよい。
- 英語がわかってきた。 ○英語の発音がよくなった。 ○そろばんを速くはじけるようになった。
- 計算力がついた。 ○字がうまくなった。 ○体力がついた。 ○運動が好きになった。
- バスケがうまくなった。 ○チームワークを大切にするようになった。
- 始まる前までに宿題を終わらせるのがよい。 ○静かに取り組むことができるようになった。
- 自分がやってみたいことがやれる。 ○違う学年の人や同級生と楽しく勉強する時間が増えた。
- いろいろな人にあいさつができるようになった。 ○先生が詳しく教えてくれるのでわかりやすい。

3. 放課後こどもクラブに参加して、良くなかった（後悔したこと）があれば書いてください。

- 授業が終わってまた勉強するので疲れる。 ○同じ事の練習ばかりで楽しくない事がある。
- 寝る時間が遅くなってしまった。 ○始めの頃は（無駄話をして）うるさくしてしまった。
- 講師の先生やサポート員さんの言うことを聞かない人がいるのがよくないと思う。
- 態度があまりよくなく、雰囲気作りの意識がもてなかった。

保護者の部

1. お子さんが、放課後子どもクラブに参加するようになって、変わってきたと思う点があれば書いてください。

- 自分で取り組むことが多くなった。 ○放課後の過ごし方が変わった。
- 時間の使い方にメリハリがついた。 ○家庭での勉強も進んでするようになった。
- わからない問題に対して努力するようになった。 ○集中するようになった。
- 自分の意見をはっきり言うようになってきた。 ○習字がうまくなってきた。
- スポーツをして発散ができています。 ○積極的に運動するようになった。
- 運動をするようになって充実感にあふれているように感じる。 ○中学校での目標ができた。
- 暗算が速くなった。 ○英語に興味をもち、少しわかるようになってきた。
- 特に変わりなく残念。

2. お子さんを放課後子どもクラブに参加させるようになって、保護者として良かったと思うことがあれば書いてください。

- ゲームの時間が減った。 ○時間の使い方を考えられるようになった。
- 早く寝るようになった。 ○家に一人でいる時間が減ったので良い。
- 勉強をするようになった。 ○復習ができています。 ○勉強がわかるようになった。
- 字が上手になった。 ○宿題を終わらせることが出来て良い。 ○他の学年と交流ができる。
- 礼儀に気をつけるようになった。 ○英語を習わせることができて良かった。
- 塾に通わせなかったが、学校の延長でやってもらえるので助かる。 ○挑戦する気持ちが出てきた。
- 体を動かすことが嫌いだったが、毎週のバスケットを楽しみにしている。
- 学校以外の先生に教わるのが良い刺激になっているようだ。

3. 逆に、お子さんを放課後子どもクラブに参加させて、良くなかったと思うことがあれば書いてください。

- 疲れが取れにくいようだ。 ●帰宅時間が遅くなって、帰ってから宿題もあるので余裕がない。
- 時間内に宿題が終わらないようで、寝る時間が遅くなった。 ●夕飯が遅くなった。
- 迎えのために職場に迷惑をかけてしまった。

4. 次年度に向けて、何かありましたら書いてください。

- これからも続けてほしい。 ○来年度も運動の日を入れてほしい。
- ミニバスの経験からチームワークの大切さを学んでほしい。
- 一人一人に細かく月謝のことなどの連絡をしてくれるので助かっている。
- 振り込みと助成券のシステムをもっと簡単にしてほしい。 ●振り込み期間を長くしてほしい。
- 集金にしてほしい。 ●国語（作文）があると良い。

アンケートの集計を終えて

【児童アンケートより】

☆質問1について

- 放課後子どもクラブに参加するようになって、「自分はよくなっている」と感じている児童がとても多いです。特に、①と⑤の挨拶に関して「よくなっている」と答えた児童が多いです。
- 一方、「④よい学習のふんい気をつくる」ことに関しては、「とてもよくなっている」と答えた児童が少ないです。大人に向かっての自立（自律）の精神を育てることにもつながりますので、「自分達で放課後の時間をよいものにしていこう。」という気持ちがさらに育つことが願いです。

☆質問2について

- 参加している児童の全てが、この質問に答えています。つまり全員が多少なりとも「参加してよかった。」という思いをもっているということです。これは大変うれしいことです。
- 知識や技術の習得にとどまらず、学習や運動に対する意欲の向上につながる回答があったことも特徴的です。その意欲が、様々な場面に波及していくとさらにうれしいです。

☆質問3について

- 放課後子どもクラブは、学校の授業後にまた学習をしますので、児童にとってはハードかもしれません。しかし、その時間は、学習に取り組む‘体力(?)・気力’を養っている時間でもあります。やがては、それが習慣化し、当たり前と言えるようになることを期待しています。
- 時々調子に乗りすぎて、講師の先生方やサポート員の方々に、ちょっと迷惑をかけてしまう場面もあったことは事実です。しかし、講師やサポート員の先生から、「9月当初より集中して取り組めるようになってきた。」という評価も得ています。(P4参照)

【保護者アンケートより】

☆質問1、質問2について

- 「放課後子どもクラブ」に参加させてから、お子さんが良い方向に変容していると感じている保護者が多いです。良い生活リズムができてくれば、きっと学力向上にもよい効果が現れてくるはずです。
- 今まで塾に通わせたくてもできなかったという保護者から、「このような機会を作ってくれてありがたい」という声が複数出ています。市の助成券も使えるので、南房総市の革新的な取り組みの成果と言えます。

☆質問3について

- 講座が始まるまでの時間内に宿題を終えられない児童は、家に帰ってから余裕がないようです。いかに自習の時間に集中して、宿題に取り組んでいるかの差が出ています。(P4参照)ただし、体操練習や陸上練習の期間は、学校で宿題をやる時間はとれませんので、集中度に関係なく家で宿題をやらなければならない状況が生じます。

☆質問4について

- 先日の役員会で、来年度も、講座の内容や運営の方法は変えないで行うことを確認しました。
- 月謝の支払い方法については、今年度と同じ方法でお願いしたいです。現金集金にすると、PTA役員の負担も増しますし、さらに、学校ではできるだけ現金を扱わないようになってきています。
- 振込み期間を長くすると、それだけPTA会計担当の確認作業が大変になりますので、ご理解ください。

講師の先生やサポート員の方々からも感想をいただきました

【講師の先生より】

- 概して、皆、まじめに頑張ってくれていました。しかし、時間が放課後であるためか多少の疲れや飽きが見えるのは仕方ないところでしょう。そのため、授業をより興味深く、楽しくしなければという努力と工夫が要求されました。2学年合同の授業でしたが、サポート員の先生方のご協力もあり、概ね順調だったと思います。
- 南房総市の口火を切った実験的なプロジェクトでしたが、成功裏に終わることを確信しています。英語学習の4技能のうち writing に焦点を当てたことは良いと考えます。
- 算数ができるようになりたいという子ども達が集まっているので、スムーズに流れています。時たま私語をしてうるさくなるときがあるのですが、注意をするとすぐ静かになる素直さがあるので助かります。
- 学校の書写を参考に、毎回テーマを検討して実施していますが、難しすぎても易しすぎても飽きてしまい、雑談が多くなります。適当なレベルや興味をもつテーマだとずっと集中しています。同じことを2学年が一つの教室で行うので、個々に対応することも必要かと思っています。
- 指導者の話をよく聞いて、言葉で感じ、行動していると思います。
- 当初は無理かと思っていた読み上げ算も行えるようになり、教える側としても子ども達の伸びに嬉しく思います。多少私語があったり飽きてしまったりする様子も見られますが、そこも少なくなってきていると思います。
- サポート員の方々には、協力をしていただき本当に感謝しています。

【サポート員の方々より】

- 自習に対する取り組み方が良くなってきました。わからないところは、友達同士で解決しようとする様子も見られました。
- クラブ開設当初は、挨拶や応答などがはきはきと言えないお子さんが多かったですが、3学期になるとサポート員や講師に対する態度がしっかりとできてきました。
- 学習に取り組む習慣が身について、特に算数が解けるおもしろさがわかってきて、教室での学習も出来るようになってきたことを実感しているようです。
- 漢字ドリル等の字は、どの子どももわりあい丁寧です。わからない言葉があると辞書を自分で引く力がついてきました。
- 3人で当番を決めてやるのは厳しい状況（主婦、介護）もありますが、相談しながらやっています。子どもの変化や「わかった。」という声を励みにして頑張っています。
- 1ヶ月ごとの予定表通りに動いているので、先が見えて助かります。
- 3学期には比較的取り組み方がよくなったが、時間の始めはどうしても私語が多いです。始めの1時間（自習）の意味がわかると、今後自立した態度が身につくと思います。
- 忘れ物が多いです。必要な道具を、放課後子どもクラブの部屋に来てから、3階の自分の教室まで取りに行く子どもが多く、その時間が惜しいと思います。
- 教科によって雰囲気の違いがあり、同じお子さんでも環境が違えば態度が変わる場合があります。
- お迎えの保護者の方とだいぶ話ができるようになりました。挨拶については、私たちから挨拶を促すのではなく、家族の方が挨拶をさせてください。さらに、迎えに遅れる場合は必ず連絡が欲しいです。